

自ら作り、運び、売る。グループとして進化を続ける

2-8



株式会社セコマ

メーカーとしての機能と価値を高める原料生産・製造事業、自社はもちろん他社のニーズにも応える物流・サービス事業、道内に約1,100店舗を持ち、地域の暮らしを支えるコンビニエンスストアチェーン「セイコーマート」を展開する小売事業を柱に、グループ企業と共に新たな挑戦を続けています。

肌触り滑らかな「国産不織布マスク」を、道内で製造・販売

▶ 製品概要

不織布、フィルター、ノーズフィッター、耳紐、全てにおいて国内メーカーさまから国内生産の資材を供給していただいた純日本製マスク。本マスクには99%カットフィルター(※1)を採用し、花粉やウイルス飛沫等の侵入を防ぐ3層構造となっています(※2)。肌触りが滑らかで、しっかりと鼻にフィット。普通サイズ7枚入りを、セイコーマートとグループ各店で販売。製造工場は、石狩市にあるセコマグループの株式会社北石エンジニアリングです。

※1 PFE(0.1μm微粒子捕集効率)、VFE(ウイルス飛沫捕集効率)、BFE(バクテリア飛沫捕集効率)の各試験(ネルソン研究所)と、花粉粒子捕集(ろ過)効率試験[(一財)カケンテストセンター]をクリアしています。

※2 マスクは感染(侵入)を完全に防ぐものではありません。

▶ 開発ストーリー

契機と なったこと

新型コロナウイルス感染症の拡大を抑止するため、不織布マスクは日常生活及び大災害のような不測の緊急時においても不可欠な衛生品となり、国内における不織布マスク供給のサプライチェーン強化が求められていました。このような背景のもと、弊社は経済産業省より不織布マスクの製造・安定供給に関する要請を受け、北海道石狩市に不織布マスク製造工場を設置・製造を開始しました。北海道内で最初の国産不織布家庭用マスクの生産拠点となります。

課題と 解決方法

国内の現状を考慮するとスピーディーな製造開始が求められる中、以下の課題に苦慮しました。

- マスク製造機器の調達及び国産マスク原料の調達
- マスク工場の改修などの工期短縮
- 長時間つけていても心地よく感じられる耳紐の形状や寸法の決定

外部機関との 連携等

王子ネピア株式会社さまからの国産不織布の供給及び、製造に関する技術指導などで支援をいただいております。全ての原材料について国内生産の資材を使用したマスク製造を実現することができました。

本事業は7月17日付で、経済産業省の「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」に採択されました。また、北海道より法人減税などの適用が可能な「地域経済牽引事業計画」として承認されています。

自社技術の PR方法

商品発売に際し、プレスリリースを発信し、各種報道をしていただきました。

今後の取組み

供給体制の更なる安定、及び商品開発に取り組んでいます。

参入への アドバイス

新型コロナ感染症拡大でマスクの緊急需要が高まる中、できるだけ早いタイミングで国産不織布マスクを供給できる体制整備に取り組みました。セコマグループでは、災害時において協定に基づいた自治体などからの食品を中心とした要請に応じていますが、今後はマスクの供給要請にもお応えできるよう準備を進めています。



純日本製 国産不織布



99%カットフィルターを採用



Secomaなめらか、息しやすい
国産不織布フィルターマスク

【企業概要】
株式会社セコマ
〒064-0809 札幌市中央区南9条西5丁目 パーク9-5ビル
TEL.011-511-2796
<https://secoma.co.jp/index.html>

代表者 代表取締役社長 赤尾 洋昭
資本金 4億2,805万円
設立年 1974年6月(創業1971年)
従業員数 99名

学生服、ユニフォームの他、自社ブランド製品も生産

2-9

相合縫製株式会社

オリジナル商品である交通安全指導員制服の製造・販売を主軸に、長くホテルや企業のユニフォーム、学生服などの製造・販売を展開してきました。

培われた技術が生きた、機能性に優れた不織布・繊維製品

▶ 製品概要

半世紀以上にわたりユニフォーム生産を行い培ってきた縫製技術を生かし、医療現場及び介護・福祉・教育・飲食店など、さまざまな現場で必要不可欠なサージカルガウン、サージカルキャップ、布マスクなどの繊維及び不織布関連製品を製作、販売しました。

▶ 開発ストーリー

契機と なったこと

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、道内で医療用ガウンが不足する中、医療機関や自治体からの要請を受け、生産を開始しました。

課題と 解決方法

全国的に不織布等特殊素材の入手が困難な状況となる中、これまで取引のある素材メーカー、商社、問屋へ情報を発信し、在庫などの確認を行い生産に対応しました。また、生産時の衛生管理が求められることから、工場内での生産者のマスクの着用や、次亜塩素酸水を使用した蒸気噴霧などにより衛生面への対応を行いました。

自社製品の PR方法

展示会などでのPRができないことから、メディアやSNSを活用し広くPRを行うと共に、ECサイトによる販路開拓を進めました。

今後の取組み

今回の経験を活かし、ドクタージャケットやドクターコートなどの新たな製品開発を進めて行きます。

参入への アドバイス

従来行ってきた自社オリジナルユニフォームとの共通化を図ることで、安定した品質の確保及び製品供給体制を整え、少しでも多くの人々の役に立つよう、常に生産技術と製品及び流通改善を行うことが大切です。



サージカルガウン



サージカルキャップ

【企業概要】
相合縫製株式会社
〒003-0026 札幌市白石区本通10丁目南7番9号
TEL.011-864-1953
<https://www.step-u.com/>

代表者 笠原 祥史
資本金 1,000万円
設立年 1968年5月
従業員数 5名